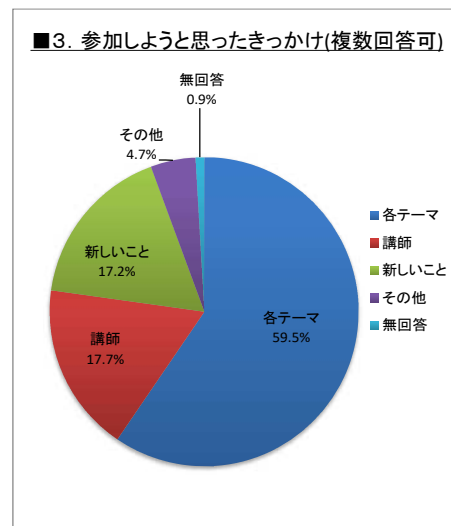
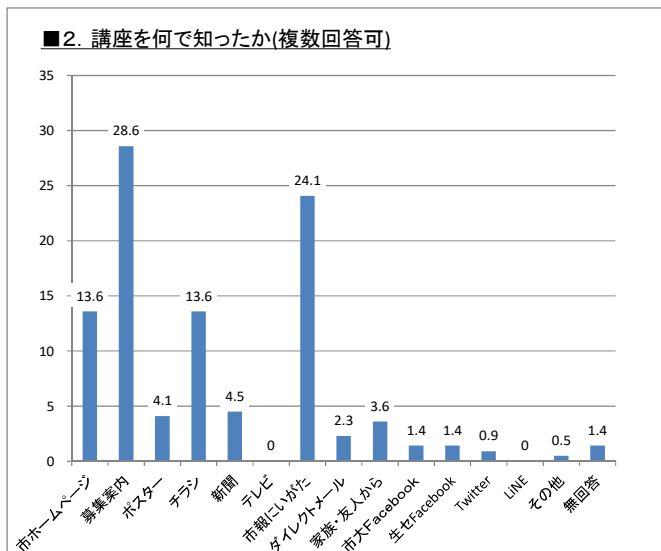
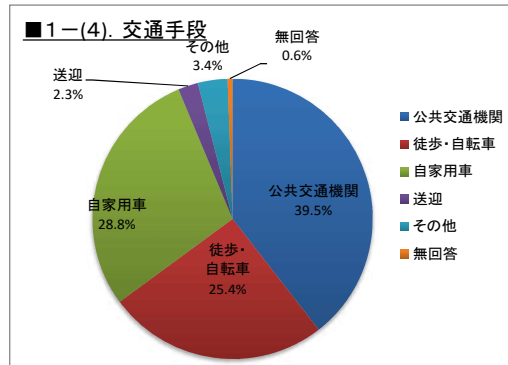
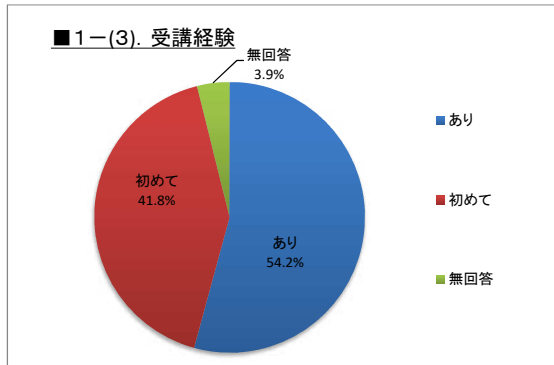
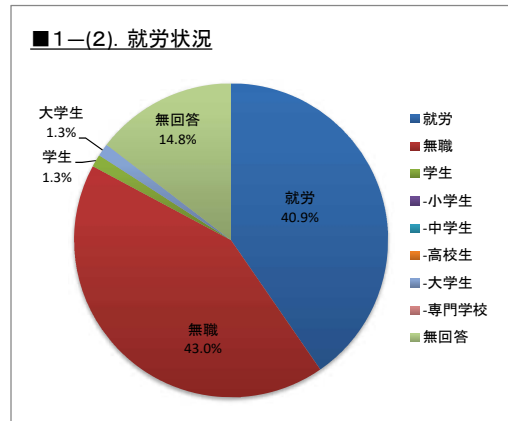
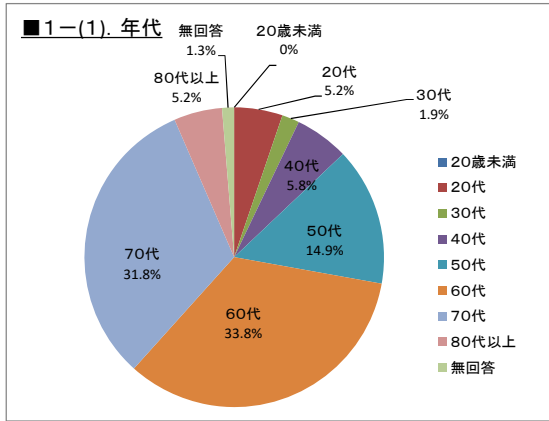
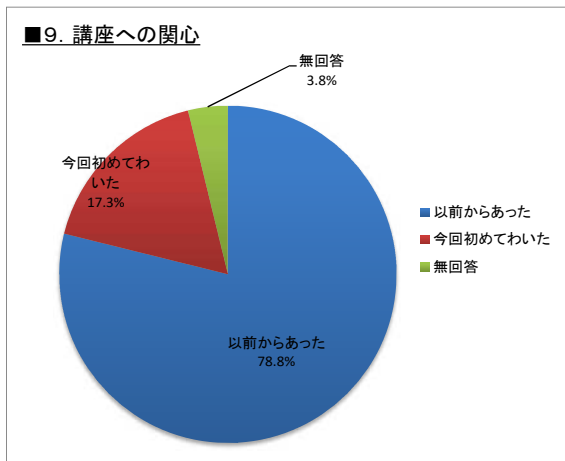
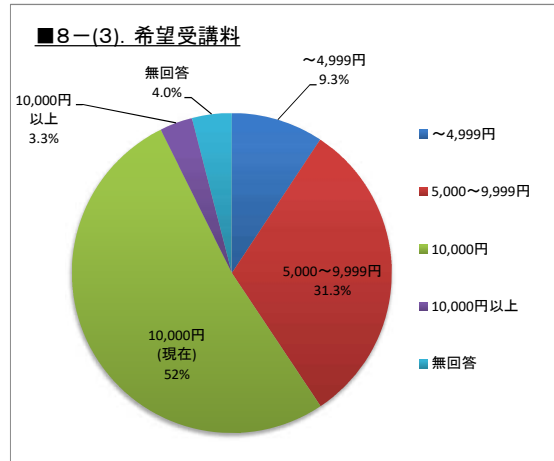
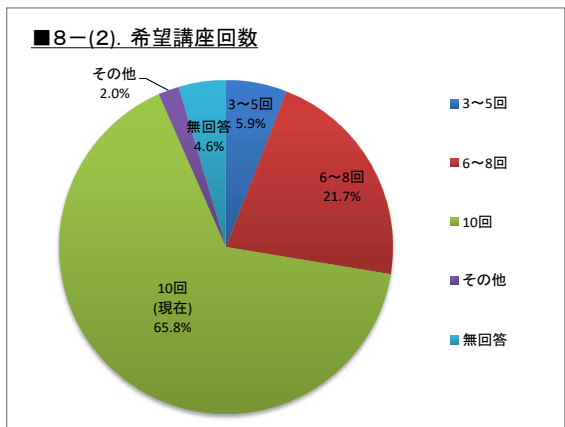
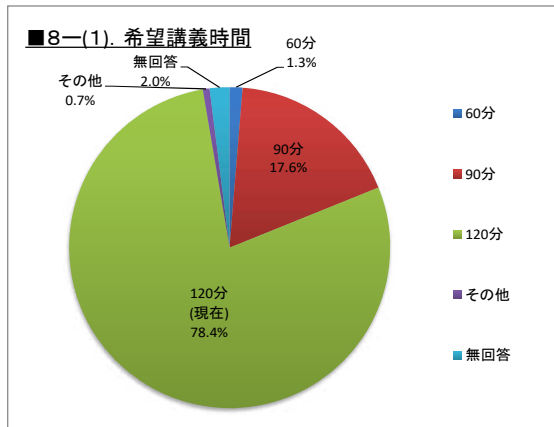
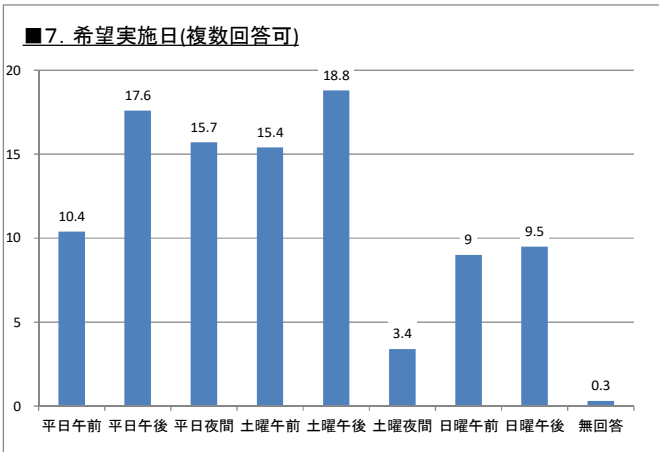
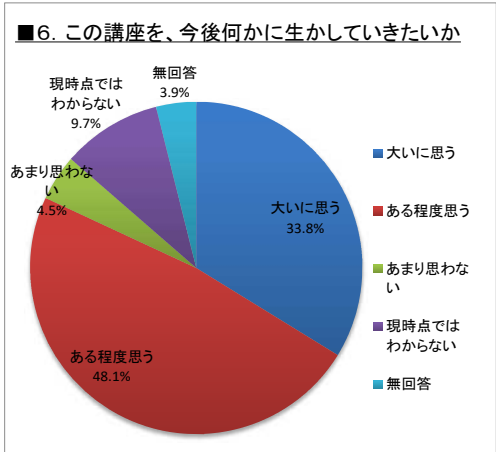
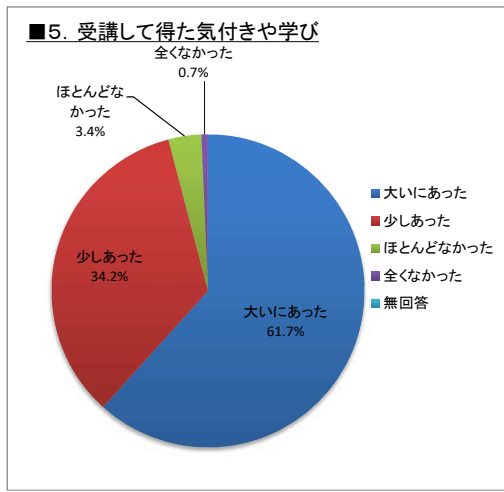
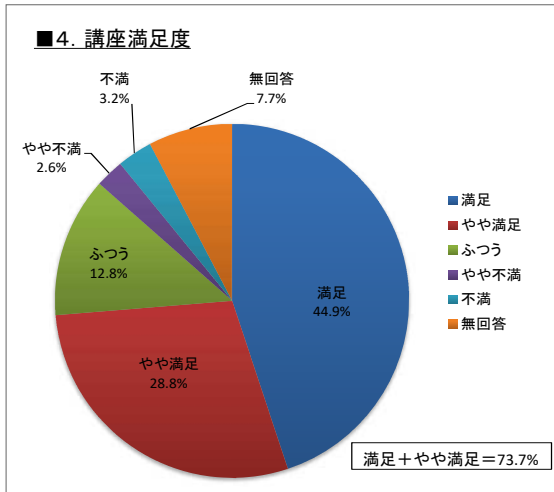


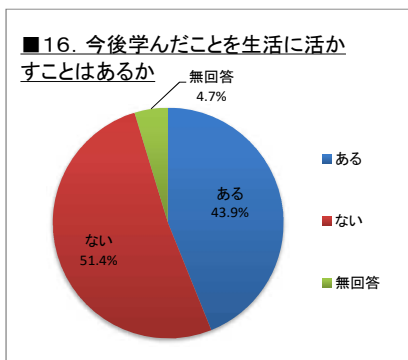
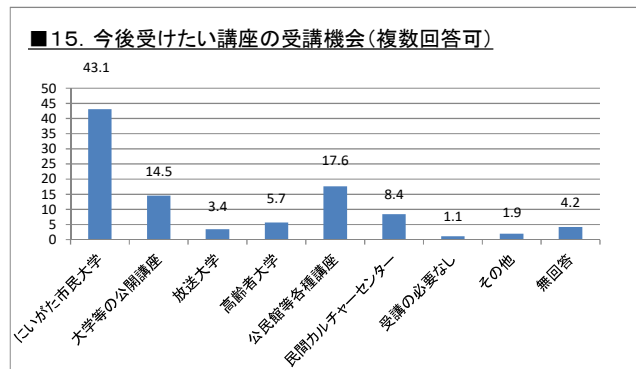
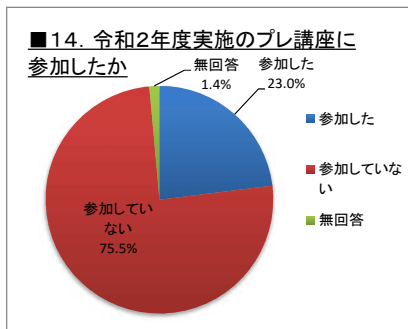
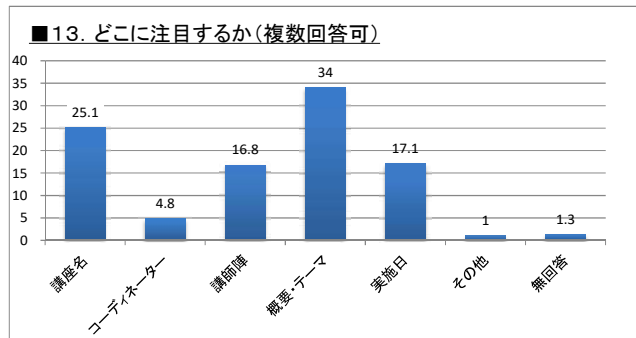
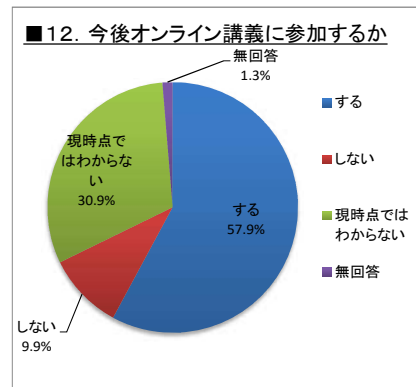
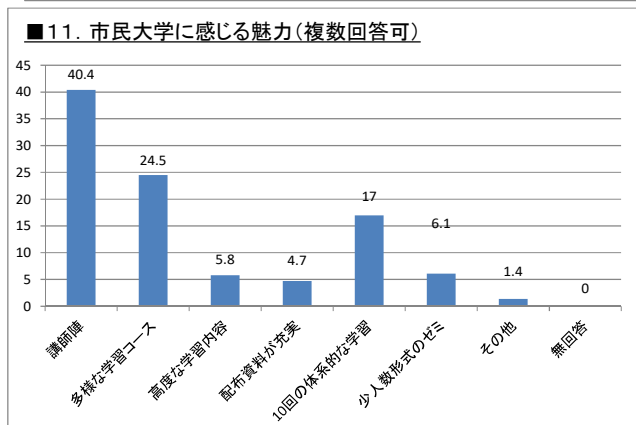
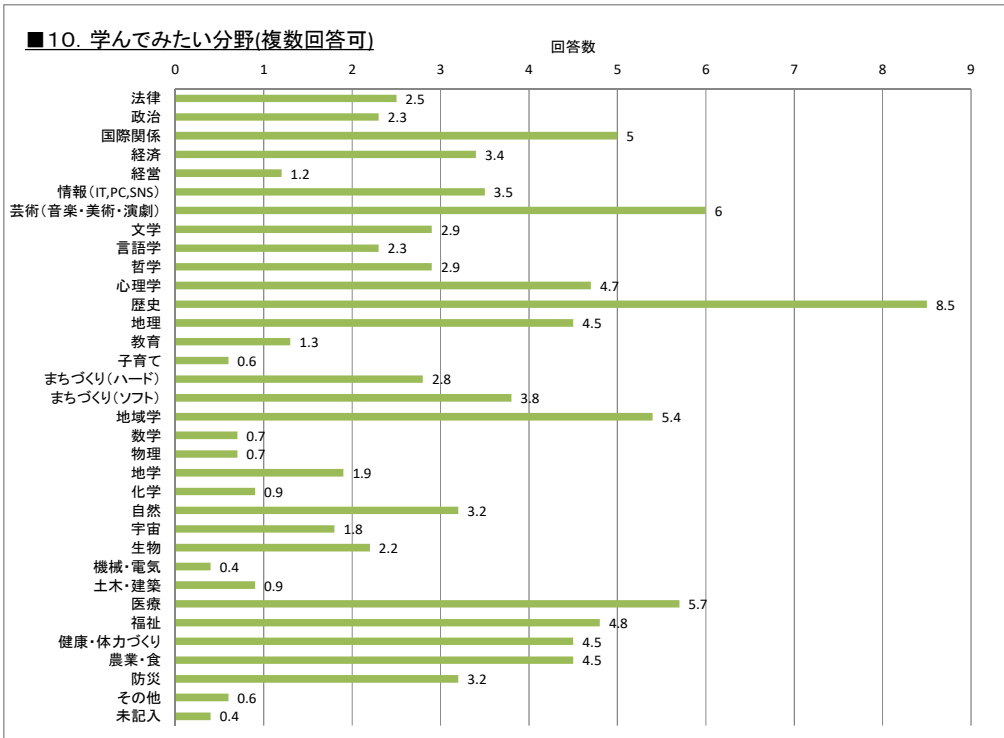
令和3年度(第27期)にいがた市民大学 前期講座終了時アンケート結果
全講座(5講座)分

令和3年6月～令和3年10月実施

講座名	受講者数	アンケート協力者数	回収率
アジアの姿と未来	32	15	47%
街中の移動を考えよう	39	29	74%
認知症とともに	80	43	54%
ミュージアムから見た新潟	62	46	74%
皆で感染症を考えよう	38	23	61%
計	251	156	62%







■ 10-2. 学びたい内容についての具体的な記述

	学びたい内容について
現代の社会問題	東南アジア、南西アジア 中東関係戦争前後の日本の状況 キリスト教、イスラム教の歴史 SDGs、脱炭素関連(新潟での取組を含めて) 環境問題 東南アジアの文化、経済 明治時代以降の近代日本史(なぜ戦争をしたか) 芸術、文学、哲学と現代社会との関連 危機管理問題 古文書 酒造り 最新の情報と近未来の予想 各分野で現在話題になっていることや、新しい出来事 日本を取り巻く国際情勢(日・米・中関係) 実技を通じた防災 日本の近現代史 東アジアでの日本の立場 法律(親族法、担保、民法、商法、相続法) 政治(現代政治、憲法) 地方都市のサステナビリティ 農業や食(ワインなど) 復興政治、中世、近世史 日本の地域の特徴、産業、観光
人間理解	心理学(若者や障がい児・老人) 実技も含めた音楽(クラシックなど) 世界の文学 家族システム、家族心理教育 考古学、古墳、やまとことばの誕生(言語学) 仏教 色々な生き方、福祉 障がい者への理解や、障がい者の就労の現実 風土と哲学(哲学) 演劇鑑賞の楽しみ方 縄文文化 南北朝時代、戦国時代、平安時代などの歴史
新潟学	新潟に関連のあること、市の魅力 郷土の歴史 市内にある小さな美術館情報 個人收藏(店舗など)作品の解説 共生社会、地域活性、新潟のまちづくり、まち歩き 学芸員からの解説 大地の芸術祭、noism、りゅーとびあなどの芸術 新潟市のなりたち(地質学的なもの、地理的なもの、歴史的なもの) 旧市街地に残り、保存してある新潟ゆかりの文人の作品碑 新潟学(2年前の開講150年のイメージ) 地域の成立と人、地域心理 古町の活性化(商店の取り組みなど) 新潟の歴史(県内全域)と自然の関わり(産業や地形の原点など)新潟をテーマにした色々な切り口での学び 高田築城の時の歴史的背景 風俗、産業 地理、歴史 風俗から見た新潟の成り立ち イザベラバードなどの外国人から見た新潟 明治以前の新潟 県内の世界を相手に仕事をしている企業や団体 県内で生まれた新しい産業や技術
生命・自然科学	最近の治療法 数学、科学、介護 新しい技術 地形、地理、日本・世界の地質学 化学変化 最新のIT事情 ダイエット、健康な体とは、老化の防ぎ方、健康寿命を延ばすには 新大脳研の研究 宇宙のなりたち ITSやDXなどの最新の情報 技術、システムのこれから 新潟県の北と南の生物分布 自然、生物、量子力学

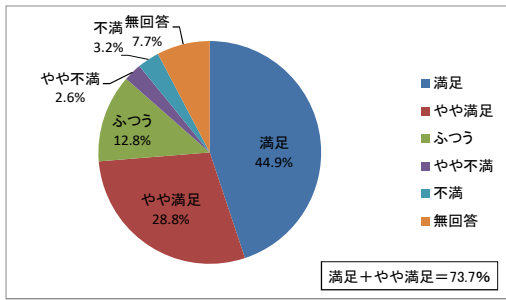
■ 11. 感想・意見

- ・今回はいろいろな国の教科書にはない生活、市民、政治などを知ることができた。しかし、トータルに東アジアの歴史や戦後の復興の様子を知りたかったが、残念ながらそれぞれの講師の考えもあり、少し違うものになった。別々の講師ではなく、一人か二人で継続しての学びもいい。
- ・第一線の講師陣が国際関係に関していろいろな視点から話が聞けて参考になった。
- ・配付資料の字が小さい、英語のみの記述のため、分かりにくかったことがありました。できれば事前にチェックして改善していただければありがたいです。
- ・オンライン講座を増やしてほしい。見逃し配信も検討してください。
- ・誰も向き合わなければならない認知症について、多面的にポジティブに学ぶことができ、大変有意義でした。コーディネーターのお二人も毎回いらして、紹介、質問などナビゲートしていただき、理解を深めることができました
- ・市民大学と言うとどちらかというと高齢で時間のある方が参加されるイメージです。名前の変更もあっていいのでは？
- ・日頃の認知症の関わり、働きを具体的に分かりやすくお話しください。現状を知ることができ、課題が見えてきた。
- ・クロスバールでの開催について諸事情で車で通いました。無料駐車場(スペース多い)のある会場が良かったです。1回あたり600~7、800円かかりました。机が小さく不便でした。余裕をもって筆記できる机スペースがあればよかったです。
- ・毎日何げなく乗っている自転車についてあらゆる角度からある程度深く考えることができてためになった。市民大学はひとつのテーマを深すぎず、広く捉えることができるのがよいところだと思う。初回~最終回までストーリー性を感じられるとさらに良いと思った。若い受講者が増えるといい。
- ・前期も見学等の機会やグループで意見交換できる時間が設けられるととってもいいと思いました。(当面はだめだと思いますが)

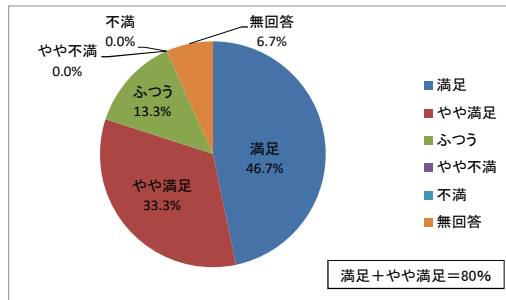
令和3年度(第27期)市民大学前期講座終了時アンケート結果
各講座別満足度

令和3年6月～令和3年10月実施

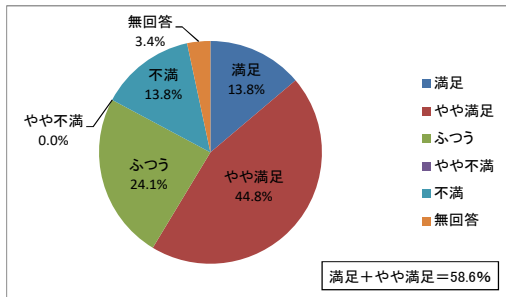
《全体集計：講座満足度》



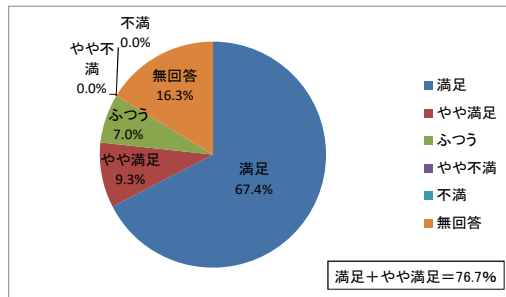
《アジア：講座満足度》



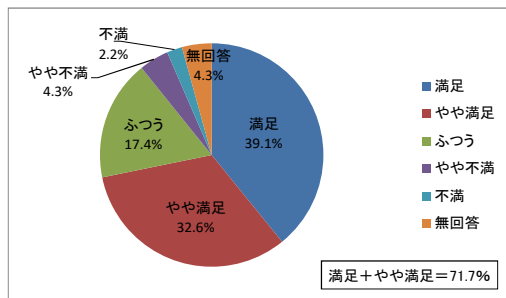
《街中の移動：講座満足度》



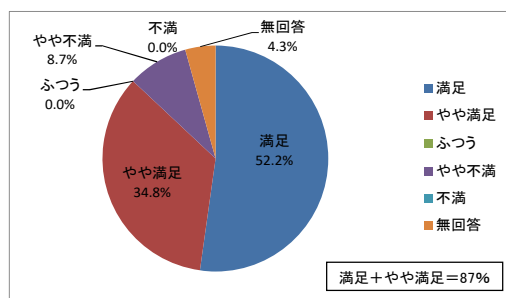
《認知症：講座満足度》



《ミュージアム：講座満足度》



《感染症：講座満足度》



受講経験による満足度(「満足」または「やや満足」を回答した割合)

	受講経験あり	受講経験なし
アジアの姿と未来	62.5%	100.0%
街中の移動を考えよう	46.7%	80.0%
認知症とともに	87.5%	70.8%
ミュージアムから見た新潟	83.3%	61%
皆で感染症を考えよう	92%	80%

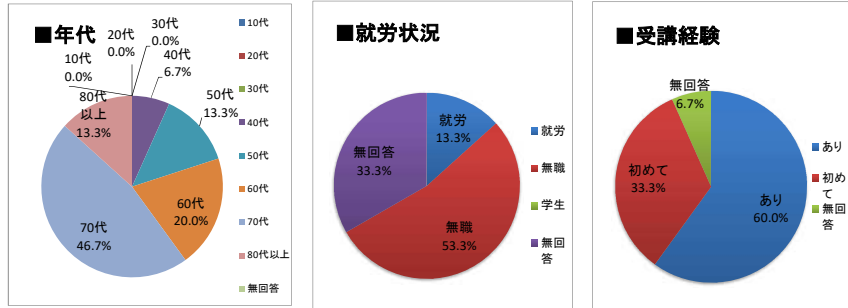
興味深かった講座

	1	2	3
アジアの姿と未来	・東アジアの安全保障 日本を取り巻く安全保障環境の展望と環日本海経済圏の可能性	・カンボジア 進む中国依存と日本の役割 ・東アジアの経済 ビジネスのグローバル化と求められる人材像	・新潟 東アジア世界と新潟の弥生時代 ・インドネシア 高齢化するバリ社会
街中の移動を考えよう	・移動にやさしい街のデザインとは？ ・自転車通勤からツーリズムまで、いまや行政は自転車に夢中？ ・車社会：エネルギーと生物の時間から考え直す	・みんなにやさしいパーソナルモビリティとは？	・みんなにやさしい街中の移動を考えよう ・みんなにやさしい地方の公共交通とは？ ・歩行と自転車の健康学 ・自転車も使える欧米の街づくり
認知症とともに	・認知症カフェと地域変革～意義と運営の実態～	・希望と尊厳をもって暮らし続ける ・「注文をまちがえる料理店」 ・「農の福祉力」～農福連携の実践と農業県・新潟の可能性～ ・認知症医療のイノベーション	・優しさを伝えるケア技法～ユニマニチュード～ ・「認知症の人と家族の会」140年の歩みと、「認知症をよく理解するための9大原則・1原則」
ミュージアムから見た新潟	・燕の金属産業と新潟 ・企業美術館から新潟市民へのメッセージ	・千曲川と信濃川～流域の文化と特徴～	・「大日本地名辞書」を独力編さんした吉田東伍と「郷土」 ・新潟の人々と植物の関わり ・水族館から見た新潟の魅力
皆で感染症を考えよう	・新型コロナウイルスの発症機構、治療およびワクチン	・誤嚥性肺炎を考える～最後まで口から食べるを目指して～	・HIV感染症－治療の進歩と今後の課題 ・結核菌の生き方

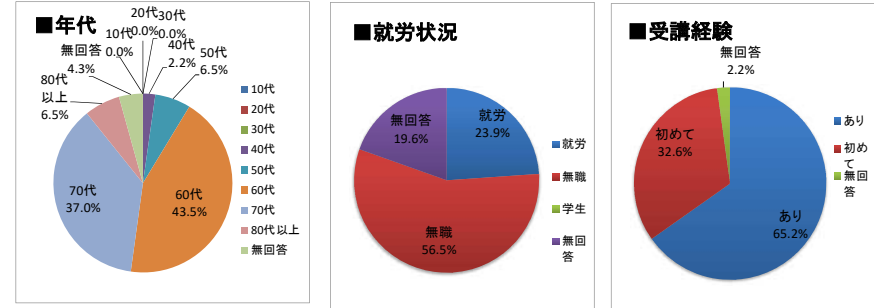
令和3年度(第27期)にいがた市民大学前期講座終了時アンケート結果
各講座別回答者属性

令和3年6月～令和3年10月実施

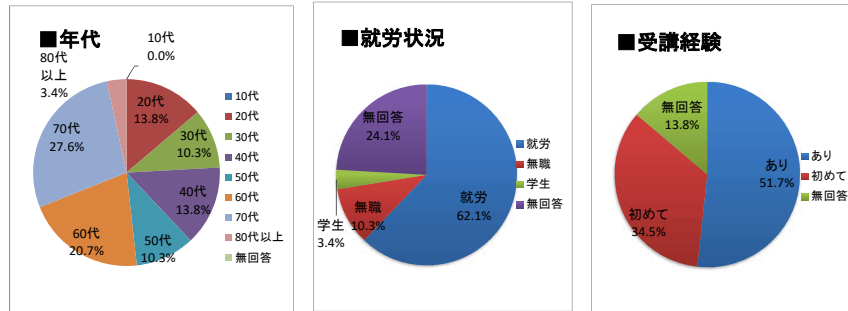
《つながりから見えるアジアの姿と未来》 土曜日 午後4時～6時



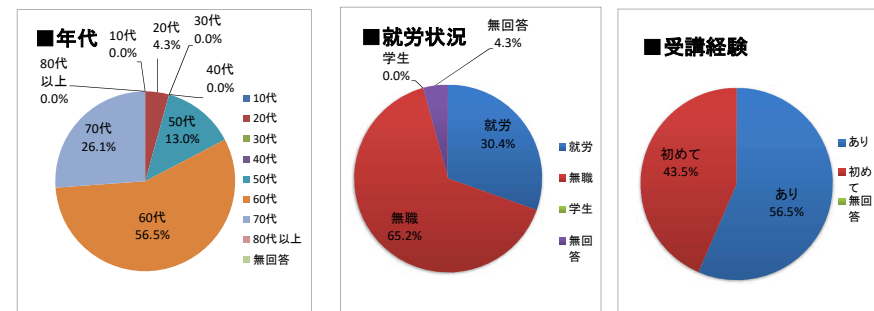
《ミュージアムから見た新潟》 水曜日 午後2時～4時



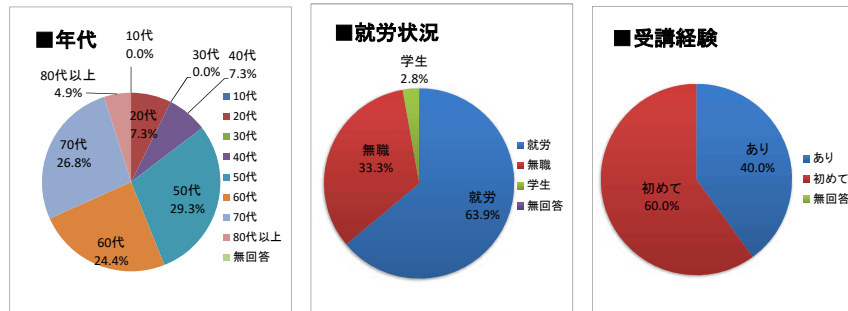
《街中の移動を考えよう》 金曜日 午後7時～9時



《皆で感染症を考えよう》 土曜日 午前10時～正午



《認知症とともに》 土曜日 午後1時～3時



《皆で感染症を考えよう 自宅受講者》

